

## 平成27年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b> ■	<b>評価対象</b> ■	<b>新規</b> □	<b>完了事業</b> □	<b>ゼロ予算事業</b> □	<b>担当者</b>	神林久雄
	<b>全体計画</b>			<b>経費区分</b>	<b>実施計画事業費</b>	<b>内線</b>	3518
<b>事務事業名</b>	8575 街路整備事業						
<b>所 属</b>	200100 まちづくり推進部・道路河川課						
<b>施 策</b>	06033500 橋や道路整備の推進						
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計					
	<b>科目</b>	080402 土木費・都市計画費・街路事業費					
	<b>事業</b>	010000 街路整備事業					
<b>事業目的</b>				<b>事業概要・効果</b>			
都市計画道路3・4・8号臥竜線の暫定供用をしている長野電鉄屋代線から八幡町国道403号線までの区間について事業実施をする。 都市計画道路3・5・6号八町線の泉小路の区間について事業実施をする。				臥竜線の整備により塩川町の国道406号と八幡町の国道403号とを結ぶことができ、交通環境の利便性が高まる。 八町線の整備により都市防災機能の充足と、市街地における交通混雑の緩和及び交通網の強化がはかられる。			

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>平成22年度 実績</b>	<b>平成23年度 実績</b>
臥竜線 路線測量・詳細設計 八町線 雨水計画調査、生整備計画調査	臥竜線 用地測量、用地1件 八町線 用地測量、補償調査
<b>平成24年度 実績</b>	<b>平成25年度 実績</b>
臥竜線 補償調査委託、用地10件、補償7件 八町線 補償調査委託、用地12件、補償2件	臥竜線 工事、用地2件、補償3件 八町線 補償調査委託、用地11件、補償11件
<b>平成26年度 実績</b>	<b>平成27年度 予定</b>
臥竜線 補償調査委託、用地・補償契約締結 八町線 補償調査委託、用地・補償契約締結	臥竜線 工事 八町線 補償調査委託、用地・補償契約締結

指標名	用地締結件数						
算式						単位	件
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標			5	2		
	実績	1	22	27	9		
指標選定の理由	事業促進や早期完成からの策定						
最終年度目標の根拠	実施計画及び国の交付金等から算出						
指標名							
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		257,618	487,730
特定財源	国庫支出金	47,206	267,355
	都道府県支出金	0	0
	地方債	23,685	196,700
	その他	26,656	0
一般財源		160,071	23,675
人員数(人)	正規職員	2.3	1.9
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	15,773.4	13,030.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	15,773.4	13,030.2
市民一人当たりの経費		5.2	9.6
総額		273,391.4	500,760.2

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	1,858	
19節 負担金補助及び交付金	10	全国街路事業促進協議会負担金
その他	255,750	立木等補償

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	補償調査委託
15節 工事請負費	53,800	工事費
19節 負担金補助及び交付金	10	全国街路事業促進協議会負担金
その他	433,920	立木等補償

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	交通環境の利便性が高まり、都市防災機能の充足と市街地における交通混雑の緩和および交通網の強化が図られる。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	都市防災機能の充足と道路網の強化が図られる。安心安全な市民生活の確保が図られる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	やや向上
評価コメント	現地踏査等によりコスト削減を検討し整備を実施。事業は国の交付金を活用し実施。受益者負担金は過去の経過等から困難と考える。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
実施計画どおりに事業は順調に進捗している。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
引き続き関係地権者と用地取得や補償物件等について交渉し、随時調印を行う。 工事を実施し、安全・安心で快適な道路整備の推進を図る。		交通渋滞の緩和、通行の安全確保を図るために、財源の確保と計画的な整備を進める	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	